所内電力量	百万kW										
総合熱効率（発電端）	%										
その他											

〈ＰＲＥ〉〈／ＢＯＤＹ〉〈／ＨＴＭＬ〉

備考

1　「【氏名又は名称】」の欄には、法人にあっては、名称を記録し、「【氏名又は名称】」の欄の次に「【代表者】」の欄を設けて、その欄に代表者の氏名を記録すること。

2　文字は、日本工業規格Ｘ0208で定められている図形文字並びにＸ0211で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【」(日本工業規格Ｘ0208区点番号（以下「区点番号」という。）１―58)、「】」(区点番号１―59)、「▲」(区点番号２－５）及び「▼」(区点番号２－７）は用いてはならない（欄名の前後に「【」(区点番号１―58）及び「】」(区点番号１―59）を、又は置き換えた文字の前後に「▲」（区点番号２－５）及び「▼」(区点番号２－７）を用いるときを除く。)。

日本工業規格Ｘ0208で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本工業規格Ｘ0208で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」(区点番号２－５)、後ろに「▼」(区点番号２－７）を付すこと。

3　「〈」、「〉」又は「〈」及び「〉」によって囲まれた欄名は、日本工業規格Ｘ0201で定められている文字を用いること。

4　「【様式番号】」の欄には、日本工業規格Ｘ0201で定められている文字を用いること。

5　文字の符号化表現は、日本工業規格Ｘ0208附属書１で定められている方式を用いること。

6　この表は、原子炉ごとに作成すること。

7　最大熱出力、平均熱出力、燃焼度、最大電力、平均電力、負荷率、設備利用率及び総合熱効率（発電端）並びに期末在庫量（炉内挿入用)、期末装荷量及び期末在庫量（払出用）のウランの量、ウラン235の量及びプルトニウムの量の欄のうち、年度計については上期、下期の値にかかわらず当該年度を通じての値を、３年間合計については各年度の値にかかわらず当該３年間を通じての値を記載すること。

8　核燃料物質消費量の欄には、当該期間において核燃料物質が発生した熱量をウラン235の消費量に換算して記載すること。

9　核燃料物質使用計画の欄には、核燃料物質の受入れ時における濃縮度が異なる場合は、その濃縮度の異なる核燃料物質ごとに区分して記載すること。

10　期末在庫量（炉内挿入用)、炉内挿入量及び炉外取出量の欄には、再使用のための核燃料物質とそれ以外のものとを区分として記載すること。

11　当該年度において受け入れる核燃料物質については、その種類、供給者が保証する燃焼度並びに供給者の氏名又は名称及びその者の属する国の名称をその他の欄に記載すること。

12　当該年度において払い出す使用済燃料については、引取者の氏名又は名称及びその者の属する国の名称をその他の欄に記載すること。

13　原子炉の燃料取替え、検査、補修等又は熱交換器、タービン、発電機等の検査、補修等のために発電の機能が減少し、又は停止する場合は、その計画を添付すること。

14　原子炉内における燃料の配置替えを行う場合は、その説明書を添付すること。

様式第８（第134条関係）

〈ＨＴＭＬ〉
〈ＨＥＡＤ〉〈ＴＩＴＬＥ〉原子炉等規制法第67条第１項
〈／ＴＩＴＬＥ〉〈／ＨＥＡＤ〉
〈ＢＯＤＹ〉〈ＰＲＥ〉
【書類名】放射線管理等報告書
【提出日】
【あて先】原子力規制委員会殿
【提出者情報】
　【氏名又は名称】
　【住所】
【適用条文】核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第１項
【様式番号】002
【報告期間】年度期
【工場又は事業所の名称】
【工場又は事業所の所在地】
【事務上の連絡先の名称】
【事務上の連絡先の所在地及び電話番号】
【事務上の連絡先の連絡員の氏名及び所属部課名】
【放射性物質の濃度の３月間についての平均値及び最高値】(注７）

測定の箇所（注１）		前半の３月間（　月～　月）		後半の３月間（　月～　月）	
		平　均　値	最高値（注２）	平　均　値	最高値（注２）
排気口又は排気監視設備					
排水口又は排水監視設備					

【放射線業務従事者の１年間の線量分布】(注７）
（４月30日までに提出すべき報告書に限り記載すること。）

１年間の線量(注３）(mSv)	５以下	５を超え15以下	15を超え20以下	20を超え25以下	25を超え50以下	50を超えるもの	計
放射線業務従事者数（人）							